

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な予算編成の実施	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—			計画的で健全な財政運営を図る上での根幹であるため			
活動指標	指標	a	経常収支比率	b	市債現在高	c	計画的な基金積立(利子分除く、財政調整基金及び減債基金)	d
	数値	目標	前年度以下	目標	前年度以下	目標	毎年5億円以上	目標

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H23	H24	H25
適正な予算編成の実施		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 経常収支比率	%	87.2 %	87.0 %	86.0 %
		101.8 %	100.2 %	101.2 %
b 市債現在高	億円	296.9 億円	303.5 億円	278.0 億円
		101.2 %	97.8 %	109.2 %
c 計画的な基金積立(利子分除く、財政調整基金及び減債基金)	億円	9.1 億円	8.4 億円	5.2 億円
		182.0 %	168.0 %	104.0 %
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
<p>主要な歳入である普通交付税の段階落ちが目前に迫るなか、経済状況の悪化や少子高齢化に伴う扶助費等の増加も予想され、より一層の計画的な財政運営が求められている。</p>
対応(改善点等)
<p>効率的・効果的な予算を組み立てるとともに、一般財源充当経費の削減及び行政経費の抑制を図る。</p>

5. 事業費・・・H23～H25(決算額)、H26(予算現額)

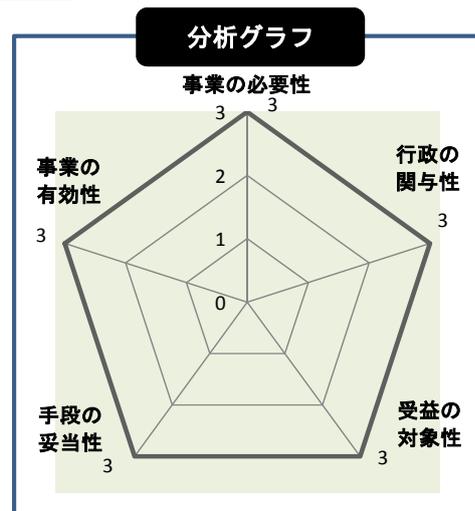
決算額(千円)	H23	H24	H25	H26
	うち経常経費	681,211	542,497	887,746
国費	1,607	2,879	6,193	2,803
県費		396		
市債				
その他	57,087	14,453	47,663	67,360
一般財源	624,124	527,648	840,083	2,803
うち経常	1,607	2,879	6,193	2,803
事業費に係る人件費	43,000	42,938	43,588	39,920
事業費に係る人役	10.00	10.00	10.00	9.00

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
<p>必要な経常経費及び適正な基金運用を図るため。</p>

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 住民福祉の向上を図るためには、将来にわたって健全な財政運営を行っていく必要があるため。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市の職員が行革のリーダーとしての自覚を持ち、現状と課題の共通認識を持った上で予算編成に取り組む必要がある。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市全体に関わることであるため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な財政分析を行い、徹底した経常経費の削減と、将来に向け計画的・安定的な財政運営を図っていく必要がある。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 健全な財政運営を図る上から必要である。



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	<p>行革集中改革プランに則り、将来に亘り、持続可能で健全な財政運営に取り組むこと。</p>